

1

- 次の取引の仕訳を示しなさい。ただし、商品に関する勘定は3分法によること。
- a. さきに、岐阜商店に対して商品 ¥4,200,000 を30か月の均等分割払いで売り渡していたが、本日、第7回目の割賦金 ¥140,000 を同店振り出しの小切手で受け取った。
 - b. 福井商事株式会社は、設立にさいし、株式400株を1株につき ¥95,000 で発行し、全額の引き受け・払い込みを受け、払込金は当座預金とした。ただし、1株の払込金額のうち ¥25,000 は資本金に計上しないこととした。なお、設立に要した諸費用 ¥720,000 は小切手を振り出して支払い、全額を繰延資産として処理した。
 - c. 南西商事株式会社は、決算の結果、当期純損失 ¥290,000 を計上した。
 - d. さきに、石川商店から商品代金として受け取っていた同店振り出し、当店あての約束手形について、支払期日の延期の申し出があり、これを承諾した。よって、支払期日の延期にともなう利息 ¥3,000 を加えた新しい手形 ¥368,000 を受け取り、旧手形と交換した。
 - e. 静岡商店の本店は、浜松支店から島田支店の得意先沼津商店に対する売掛金 ¥165,000 を、現金で回収したとの通知を受けた。ただし、本店集中計算制度を採用している。(本店の仕訳)
 - f. 長野工業株式会社は、額面総額 ¥60,000,000 の社債のうち ¥7,500,000 を抽せんによって償還することを決定した。
 - g. 富山商事株式会社(決算年/回)は、中間申告をおこない、前年度の法人税・住民税および事業税の合計額 ¥1,940,000 の2分の1を小切手を振り出して納付した。

2

- 次の取引を特殊仕訳帳としての当座預金出納帳に記入し、総勘定元帳と売掛金元帳・買掛金元帳に転記しなさい。
- ただし、
- i 総勘定元帳への転記は、特殊仕訳帳から直接おこなうこと。
 - ii 特殊仕訳帳は、月末に締め切るものとする。
 - iii 総勘定元帳・売掛金元帳・買掛金元帳の記入は、日付と金額を示せばよい。
 - iv ほかに特殊仕訳帳として、現金出納帳・仕入帳・売上帳を用いている。

取引

1月/7日 名古屋商店から商品 ¥320,000 を仕入れ、代金は小切手を振り出して支払った。

23日 甲府商店から受け取っていた約束手形 ¥260,000 が、本日、満期となり当座預金に入金されたとの連絡を取り銀行から受けた。

25日 山梨商店に対する売掛金 ¥470,000 を同店振り出しの小切手で受け取り、ただちに当座預金とした。

30日 愛知商店に対する買掛金 ¥120,000 を小切手を振り出して支払った。

3

- 次の各問いに答えなさい。
- (1) 三重商店(個人企業)の下記の繰越試算表と資料によって、次の金額を計算しなさい。
- a. 仕入高 b. 期末の借入金

繰越試算表			
平成○年/2月31日			
借方	勘定科目	貸方	
620,000	現金		
1,270,000	売掛金		
480,000	繰越商品		
750,000	備品		
	買掛金	510,000	
	借入金	()	
	資本	()	
3,120,000		3,120,000	

資料	
i 期首の資産総額	¥2,830,000
(うち商品 ¥520,000)	
ii 期首の負債総額	¥1,360,000
iii 期間中の収益および費用	
売上高	¥8,750,000
売上原価	6,125,000
営業費	2,030,000
支払利息	15,000
iv 期間中の追加元入額	¥200,000
v 期間中の引出金	¥40,000

- (2) 新潟商店(個人企業)の本店・支店の貸借対照表と未達事項および本支店合併後の貸借対照表によって、次の金額を計算しなさい。
- a. 支店勘定残高と本店勘定残高の一致額 b. 支店貸借対照表の買掛金(ア)の金額
- c. 本支店合併の商品(イ)の金額

本店 貸借対照表			
平成○年/2月31日			
資産	金額	負債・純資産	金額
現金	645,000	支払手形	690,000
当座預金	2,172,000	買掛金	1,351,000
売掛金	1,834,000	資本金	5,500,000
商品	950,000	当期純利益	859,000
備品	1,400,000		
支店	1,399,000		
	8,400,000		8,400,000

支店 貸借対照表			
平成○年/2月31日			
資産	金額	負債・純資産	金額
現金	315,000	支払手形	460,000
当座預金	618,000	買掛金	(ア)
売掛金	587,000	本店	1,179,000
商品	(イ)	当期純利益	378,000
備品	700,000		
	()		()

未達事項

- ① 本店から支店に発送した商品 ¥80,000 (原価) が、支店に未達である。
- ② 支店で本店の買掛金 ¥175,000 を支払ったが、この通知が本店に未達である。
- ③ 本店で支店受取分の手数料 ¥35,000 を受け取ったが、この通知が支店に未達である。

[本支店合併後の貸借対照表]

貸借対照表			
平成○年/2月31日			
新潟商店	資産	金額	負債・純資産
	現金	960,000	支払手形
	当座預金	2,790,000	買掛金
	売掛金	2,421,000	資本金
	商品	(イ)	当期純利益
	備品	2,100,000	()
		()	()

4 東京商店の1月20日の略式の伝票から、仕訳集計表(日計表)を作成しなさい。ただし、次の取引について、必要な伝票に記入したうえで集計すること。なお、仕入・売上の各取引については、代金の決済条件にかかわらず、すべて、いったん掛け取引として処理する方法によっている。

取引

1月20日 国立商店から商品 ¥250,000 を仕入れ、代金のうち ¥150,000 は約束手形 #1/4 を振り出して支払い、残額は現金で支払った。

入金伝票	出金伝票	売上伝票
売掛金 198,000	買掛金 178,000	八王子商店 235,000
受取利息 14,000	当座預金 261,000	多摩商店(戻り) 29,000
売掛金 328,000	消耗品費 4,000	調布商店 183,000
当座預金 265,000	買掛金 196,000	日野商店 345,000
() ()	() ()	東村山商店 218,000
		() ()

振替伝票(借方)	振替伝票(貸方)	仕入伝票
買掛金 125,000	支払手形 125,000	三鷹商店 257,000
支払手形 186,000	当座預金 186,000	国分寺商店 114,000
当座預金 310,000	売掛金 310,000	府中商店(値引) 6,000
消耗品費 27,000	当座預金 27,000	立川商店 132,000
() ()	() ()	武蔵野商店 89,000
		() ()

5 北陸商店(個人企業 決算年/回 12月31/日)の総勘定元帳勘定残高と付記事項および決算整理事項は、次のとおりであった。よって、
(1) 付記事項の仕訳を示しなさい。
(2) 決算整理仕訳を示しなさい。ただし、繰り延べおよび見越しの勘定を用いること。
(3) 損益計算書(2区分)および貸借対照表を完成しなさい。

元帳勘定残高

現金 ¥ 894,000	当座預金 ¥ 2,850,000	受取手形 ¥ 1,650,000
売掛金 3,050,000	貸倒引当金 16,000	有価証券 936,000
繰越商品 1,170,000	備品 2,700,000	備品減価償却累計額 900,000
支払手形 1,300,000	買掛金 1,261,000	借入金 800,000
従業員預り金 230,000	資本金 8,000,000	売上 17,340,000
受取手数料 154,000	仕入 12,630,000	給料 2,550,000
支払家賃 948,000	保険料 149,000	消耗品費 430,000
雑費 35,000	支払利息 9,000	

付記事項

① 当期首に購入した備品 ¥300,000 を、消耗品費勘定で処理していたので、これを修正する。

決算整理事項

- a. 期末商品棚卸高 ¥1,280,000
b. 貸倒引当金 受取手形と売掛金の期末残高に対し、それぞれ2%とする。ただし、差額を計上する方法によること。
c. 備品減価償却高 備品について、次のとおり定額法によって減価償却をおこなう。
取得原価 ¥2,700,000 残存価額 零(0) 耐用年数 6年
取得原価 ¥300,000 残存価額 零(0) 耐用年数 4年
d. 有価証券評価高 売買を目的として保有する次の株式について、時価によって評価する。
金沢商事株式会社 18株 帳簿価額 @¥52,000 時価 @¥48,000
e. 保険料前払高 保険料のうち ¥87,000 は、本年9月からの1年分を支払ったものであり、前払高を次期に繰り延べる。
f. 手数料未収高 ¥10,000
g. 利息未払高 ¥2,000

1

	借方	貸方
a		
b		
c		
d		
e		
f		
g		

2

2

[illegible]

2

1/1 前期繰越	1,682,000	
	売 掛 金	4
1/1 前期繰越	1,437,000	
	売 掛 金 元 帳	
	山 梨 商 店	2
1/1 前月繰越	685,000	

2

1/1 前期繰越	670,000
買 掛 金	13
1/1 前期繰越	816,000
買 掛 金 元 帳	
愛 知 商 店	1
1/1 前月繰越	387,000

3

(1)

a	仕 入 高	27	b	期 末 の 借 入 金	27
---	-------	----	---	-------------	----

(2)

a	支店勘定残高と 本店勘定残高の 一致額	b	支店貸借対照表の 買掛金(アの金額)	c	本支店合併の 商品(イの金額)
---	---------------------------	---	-----------------------	---	--------------------

試 験 場 校	受 験 番 号

2級の1得点

4

仕 訳 集 計 表

平成〇年/月20日

借	方	平	勘 定 科 目	平	貸	方
			現 金			
			当 座 預 金			
			売 掛 金			
			支 払 手 形			
			買 掛 金			
			売 上			
			受 取 利 息			
			仕 入			
			消 耗 品 費			

5

(1)

	借	方	貸	方
①				

(2)

	借	方	貸	方
a				
b				
c				

	借	方	貸	方
d				
e				
f				
g				

(3) 損 益 計 算 書

北陸商店 平成〇年/月/日から平成〇年/2月3/日まで

費 用	金 額	収 益	金 額
期首商品棚卸高		売 上 高	
仕 入 高		期末商品棚卸高	
売上総利益			
給 料		()	
()		受 取 手 数 料	
()			
支 払 家 賃			
保 険 料			
消 耗 品 費			
雑 費			
支 払 利 息			
()			
()			

貸 借 対 照 表

北陸商店 平成〇年/2月3/日

資 産	金 額	負債および純資産	金 額
現 金		支 払 手 形	
当座預金		買 掛 金	
受取手形()		借 入 金	
貸倒引当金()		従業員預り金	
売 掛 金 ()		()	
貸倒引当金()		資 本 金	
有価証券		()	
商 品			
()			
()			
備 品 ()			
減価償却累計額()			

試 験 場 校	受 験 番 号

2級の2得点

総 得 点

1

	借	方	貸	方
a	現	金	割 賦 売 掛 金	140,000
b	当 座 預 金	38,000,000	資 本 金	28,000,000
	創 立 費	720,000	資 本 準 備 金	10,000,000
			当 座 預 金	720,000
c	繰 越 利 益 剰 余 金	290,000	損 益	290,000
d	受 取 手 形	368,000	受 取 手 形	365,000
			受 取 利 息	3,000
e	浜 松 支 店	165,000	島 田 支 店	165,000
f	社 債	7,500,000	未 払 社 債	7,500,000
g	仮 払 法 人 税 等	970,000	当 座 預 金	970,000

2

当 座 預 金 出 納 帳

2

平成 〇年	勘定科目	摘 要	平 子	売 掛 金	諸 口	平成 〇年	勘定科目	摘 要	平 子	買 掛 金	諸 口
		前ページから		483,000	195,000			前ページから		643,000	177,000
1 23	受取手形	約 手 入 金	3		260,000	1 17	仕 入	名古屋商店	✓		320,000
25	売 掛 金	山 梨 商 店	売2	470,000		30	買 掛 金	愛 知 商 店	買1	120,000	
				953,000	455,000					763,000	497,000
31			4		953,000	31			13		763,000
〃			2		1,408,000	〃			2		1,260,000
		前 月 繰 越	✓		1,682,000			次 月 繰 越	✓		1,830,000
					3,090,000						3,090,000

総 勘 定 元 帳

当 座 預 金 2			
1/1 前期繰越	1,682,000	1/31	1,260,000
31	1,408,000		
売 掛 金 4			
1/1 前期繰越	1,437,000	1/31	953,000
売 掛 金 元 帳			
山 梨 商 店 2			
1/1 前月繰越	685,000	1/25	470,000

受 取 手 形 3			
1/1 前期繰越	670,000	1/23	260,000
買 掛 金 13			
1/31	763,000	1/1 前期繰越	816,000
買 掛 金 元 帳			
愛 知 商 店 1			
1/30	120,000	1/1 前月繰越	387,000

3

(1)	a	仕 入 高 ¥ 6,085,000	b	期 末 の 借 入 金 ¥ 400,000
-----	---	----------------------	---	--------------------------

(2)	a	支店勘定残高と 本店勘定残高の 一 致 額 ¥ 1,224,000	b	支店貸借対照表の 買掛金(アの金額) ¥ 543,000	c	本支店合併の 商品(イの金額) ¥ 1,370,000
-----	---	--	---	------------------------------------	---	-----------------------------------

4

仕 訳 集 計 表
平成○年/月20日

借	方	平	勘 定 科 目	平	貸	方
805,000			現 金		739,000	
571,000			当 座 預 金		478,000	
981,000			売 掛 金		865,000	
186,000			支 払 手 形		275,000	
755,000			買 掛 金		842,000	
29,000			売 上		981,000	
			受 取 利 息		14,000	
842,000			仕 入		6,000	
31,000			消 耗 品 費			
4,200,000					4,200,000	

5

(1)

	借	方	貸	方
①	備 品	300,000	消 耗 品 費	300,000

(2)

	借	方	貸	方
a	仕 入	1,170,000	繰 越 商 品	1,170,000
	繰 越 商 品	1,280,000	仕 入	1,280,000
b	貸 倒 償 却	78,000	貸 倒 引 当 金	78,000
c	減 価 償 却 費	525,000	備品減価償却累計額	525,000

	借	方	貸	方
d	有価証券評価損	72,000	有 価 証 券	72,000
e	前 払 保 険 料	58,000	保 險 料	58,000
f	未 収 手 数 料	10,000	受 取 手 数 料	10,000
g	支 払 利 息	2,000	未 払 利 息	2,000

(3) 損 益 計 算 書

北陸商店 平成○年/月/日から平成○年/2月3/日まで

費 用	金 額	収 益	金 額
期首商品棚卸高	1,170,000	売 上 高	17,340,000
仕 入 高	12,630,000	期末商品棚卸高	1,280,000
売上総利益	4,820,000		
	18,620,000		18,620,000
給 料	2,550,000	(売上総利益)	4,820,000
(貸倒償却)	78,000	受取手数料	164,000
(減価償却費)	525,000		
支払家賃	948,000		
保険料	91,000		
消耗品費	130,000		
雑 費	35,000		
支払利息	11,000		
(有価証券評価損)	72,000		
(当期純利益)	544,000		
	4,984,000		4,984,000

貸 借 対 照 表

北陸商店 平成○年/2月3/日

資 産	金 額	負債および純資産	金 額
現 金	894,000	支 払 手 形	1,300,000
当座預金	2,850,000	買 掛 金	1,261,000
受取手形(1,650,000)		借 入 金	800,000
貸倒引当金(33,000)	1,617,000	従業員預り金	230,000
売 掛 金 (3,050,000)		(未 払 利 息)	2,000
貸倒引当金(61,000)	2,989,000	資 本 金	8,000,000
有価証券	864,000	(当期純利益)	544,000
商 品	1,280,000		
(前払保険料)	58,000		
(未収手数料)	10,000		
備 品 (3,000,000)			
減価償却累計額(1,425,000)	1,575,000		
	12,137,000		12,137,000

(貸倒償却は、貸倒引当金繰入でもよい。)